

みずほCustomer Desk Report 2017/01/31 号(As of 2017/01/30)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	114.70 AUD/USD
TKY 9:00AM	114.68	1.0716	122.90	0.9973	1.2594	0.7555
SYD-NY High	115.01	1.0741	123.05	1.0045	1.2600	0.7567
SYD-NY Low	113.45	1.0620	121.46	0.9934	1.2466	0.7528
NY 5:00 PM	113.80	1.0696	121.70	0.9950	1.2487	0.7553
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.925/12.325	△25RR	0.445	Yen Call Over		
NY DOW	19,971.13	▲ 122.65	債券市場	日本2年債	-0.2320	▲ 4.0bp
NASDAQ	5,613.71	▲ 47.07		日本10年債	0.0850	0.1bp
S&P	2,280.90	▲ 13.79		米国2年債	1.2122	▲ 0.6bp
日経平均	19,368.85	▲ 98.55		米国5年債	1.9491	0.3bp
TOPIX	1,543.77	▲ 5.48		米国10年債	2.4881	0.4bp
シカゴ日経先物	19,210	▲ 295.00		独10年債	0.4490	▲ 1.3bp
ロンドンFT	7,118.48	▲ 66.01		英10年債	1.4440	▲ 2.7bp
DAX	11,681.89	▲ 132.38	為替市況	豪10年債	2.7240	▲ 5.5bp
ハンセン指数	-	-		USD/CNH	6.8633	▲ 0.0060
上海総合	-	-	商品市況	ドルインデックス	100.43	▲ 0.10
USDJPY 3M Vol	12.45	0.23%		CRB指数	191.263	▲ 2.17
USDJPY 6M Vol	12.28	0.10%		NY金	1,196.00	4.90
EURJPY 3M Vol	11.53	0.69%		WTI	52.63	▲ 0.54
EURJPY 6M Vol	12.44	0.34%		Dubai Spot	-	-

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月30日	19:00	欧 消費者信頼感	1月 -4.9	-4.9
	22:00	独 消費者物価指数・速報値(前月比/前年比)	1月 1.9%/-0.6%	2.0%/-0.5%
	22:00	独 EU基準CPI(前月比/前年比)	1月 -0.8%/1.9%	-0.7%/2.0%
	22:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	12月 0.1%/1.7%	0.1%/1.7%
	22:30	米 個人所得/個人支出	12月 0.3%/0.5%	0.4%/0.5%
1月31日	0:00	米 中古住宅販売契約	12月 1.6%	1.0%

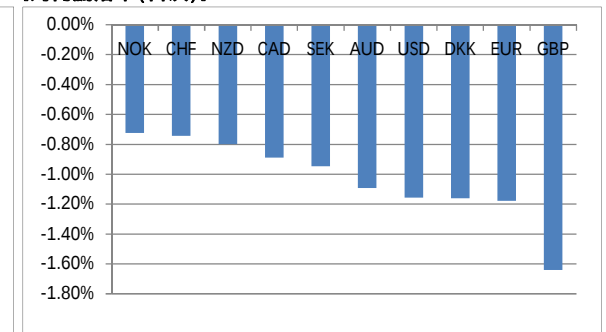
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月31日	8:30	日 失業率/有効求人倍率	12月 3.1%/1.42	3.1%/1.41
	8:50	日 鉱工業生産・速報値(前月比/前年比)	12月 0.3%/3.0%	1.5%/4.6%
	-	日 日銀金融政策決定会合	-	-
	15:30	日 黒田日銀総裁記者会見	-	-
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報値	4Q 0.5%/1.7%	0.3%/1.7%
	19:00	欧 CPI予想/CPIコア(前年比)	1月 1.5%/0.9%	1.1%/0.9%
	23:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	1月 55.0	53.9
2月1日	0:00	米 消費者信頼感	1月 112.8	113.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケットインプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.80-114.10	1.0650-1.0750	121.00-122.30

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は、軟調な値動きとなった。トランプ氏による中東・アフリカ7カ国からの一時入国を禁止する大統領令に対する国内外の批判は非常に強く、政治的な混乱を警戒してリスク回避の買いが強まった。113.45円まで下落し、113.80円でクローズしている。

本日は、上値の重い値動きを予想する。米入国制限の大統領令に関しては米政界でも反発が強まり、政情の不安定化に対する懸念も台頭している。米景気は底堅いものの、リスク回避ムードが強い為、ドル買いの流れにはなりにくいと思われる。また、本日の日銀金融政策決定会合は現状維持の見方が大勢となっており、ドル/円の支援材料とはなりにくいだろう。

東京	週明けのドル円相場は朝方に115.01を付けるも、27日にトランプ大統領が移民の入国を制限する大統領令に署名したこと等からリスク回避的な買いが強まり114.68レベルまで下落して東京時間オープン。日経平均株価が前営業日比マイナスで寄り付き軟調推移となるとドル円も連れ安となり一時114.27まで下落。しかし、旧正月で市場参加者が限られることに加え、今週は日銀金融政策決定会合、FOMCと重要イベントを控えている中で一方向的に下落する展開とはならず、その後はじりじりと下落幅を縮小。結局、114.60レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は114.60レベルでオープン。特段の新規材料のない中、114.94まで上昇したもののこのレベルから一段と上値を追う展開とはならず、横ばい水準の114.60レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2565レベルでオープン。引き続きEU離脱交渉の不透明感が意識され一時1.2491まで下落。その後、1.2508レベルでNYに渡った。ユーロ円は122.86レベルでオープン、ノットー・オーストリア中銀総裁の"6月のECB理事会ではテーバリングの決定は出ないだろう。"との発言を受けユーロ売りが進行。結局、121.80レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	ドル円は海外市場で114円台半ばでの方向感に欠ける推移が続き、114.60レベルでNYオープン。朝方発表された米12月個人所得、個人支出は概ね市場予想範囲内の結果となり、市場への影響は限定的となった。先週末トランプ大統領がシリアやイラクなどイスラム教徒が国民の大多数を占める7カ国の米国入国を一時停止する大統領令に署名したことで保護主義懸念が強まり、リスク回避の動きを受けてドル円は114.00円付近まで下落。その後マイナスで寄り付いた米株が下落幅を拡大する展開にドル円は統落し安値113.45を示現。近年のグローバル化から米国では世界中から労働者が集まっており、宗教差別との見方もあるこの移民規制に対し、複数の米大企業CEOから抗議が続出。しかし、トランプ氏は以前にも新政権の保護主義ポリシーに反する企業をSNSなどで名指しで抗議したこともあり、経営責任者にとっては非常に動きづらい状況となっている。ドル円はその後上値の重い推移が続き、113.80レベルでクローズした。一方ユーロドルはノットー・オーストリア中銀の"6月のECB理事会ではテーバリングの決定は出ないであろう"との発言もあり高値1.0740から1.0620まで下落しNYオープン。軟調な米株の推移を背景にドル売りが強まるとユーロドルは1.0709まで値を戻し、1.0696レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 大熊・森谷